

# 地域貢献BLS講習会について

皆様はAEDをご存知ですか？

AEDとは、「電気ショックを与えて心臓の動きを正常に戻す機械」のことであり、医療従事者でなく一般の方でも容易に扱うことができることから、人の集まる公共施設や駅や空港などに多く設置されるようになりました。



当院は、県内初のAED設置施設です。各フロアに設置され、二万一台のために「備えています」。

院内に設置してあるAED

済生会宇都宮病院 × 宇都宮市教育委員会 共同事業

## BLS講習会

Basic life support

救急Basic Life Supportとは、心臓停止状態の人に対して行う救命処置を指します。心臓が「救命装置」であっても状況や環境に応じて機能は低下しますが、その中でもBLSは素人が容易に実施可能な救命処置です。BLSは、患者さんが呼吸が止まったり心臓停止状態に陥った時、医師や看護師が到着するまでの期間に活用されています。一般の人が応急処置による救命を行うには、法的にも認められています。日本の心臓発作の発生は増加を続けており、身近でBLSが必要となる可能性は高まっています。BLS講習会にはBLSの知識があれば、心臓発作だけでなく不慮な事故などによる心臓停止に対して適切な処置を行うことができます。

日時 平成20年11月11日(火)  
受付 14時00分～  
講習 14時30分～17時00分

場所 済生会宇都宮病院 グリーンホール

定員 32名

↑ 受講生募集ポスター

栃木県内の公立小中学校においても、「万一台のために」とAEDの設置率が2008年には約9割(2007年では4割)と、急速に普及しましたが、その一方で、教職員の方々がAEDの操作方法を学ぶ機会が少ないという現状がありました。

このような背景に対し、宇都宮市教育委員会と協力し、小中学校教員を対象としたBLS講習会を済生会宇都宮病院で実施する運びとなりました。

BLSとは、心肺停止状態の人に対して行う救命処置を指します。講習会では、AEDの使用だけでなく、人工呼吸、心臓マッサージの必要性といった講義と、マネキンを使用した実技を実施しました。受講した教職員の皆様からは、大変な好評を頂きました。今後このような講習会を定期的に開催し、少しでも地域に貢献していきたいと考えています。



↑ 院内BLSインストラクターの丁寧な指導。



↑ 救急専従医が分かりやすく解説します。